

(2) 乗合バスの車内事故②

4月1日（月）午後0時49分頃、大分県の市道において、同県に営業所を置く乗合バスが乗客6名を乗せ運行中、バス停を通過後に車内が騒がしかったためブレーキをかけた際、乗客が転倒した。

この事故により、転倒した乗客が重傷を負った。

転倒した乗客は、当該バス停で降りるつもりだった模様。

(3) 乗合バスの車内事故③

4月2日（火）午前8時41分頃、東京都の都道交差点において、都内に営業所を置く乗合バスが乗客23名を乗せ運行中、当該交差点を直進する際、対向の右折待ちをしていた乗用車が発進したため、接触を避けようと急制動をしたところ、接触は免れたが乗客がバランスを崩し転倒した。

この事故により、転倒した乗客が重傷を負った。

(4) 高速乗合バスの衝突事故

3月31日（日）午前3時頃、山梨県的高速道路において、愛知県に営業所を置く高速乗合バスが乗客31名を乗せ運行中、単独事故を起こして停車していた軽自動車と衝突した。

この事故により、軽自動車の運転者が死亡した。

(5) トラクタ・タンクセミトレーラの横転、危険物等漏洩事故

3月29日（金）午前6時25分頃、北海道の自動車専用道路において、道内に営業所を置くトラクタ・タンクセミトレーラが運行中、車線を変更しようとしたところスリップし横転した。

この事故により、トラクタ・タンクセミトレーラに積載していた灯油が道路上に漏洩した。

事故当時の天候は雪で、路面は凍結していた模様。

(6) 大型トラックの衝突事故①

4月1日（月）午後1時40分頃、宮城県的高速道路において、同県に営業所を置く大型トラックが運行中、前方でトラックと軽自動車による別の衝突事故があり、当該大型トラック運転者はこの事故に気づき回避措置を取ったが、トラックに衝突した。

この事故により、軽自動車の運転者と同乗者1名が死亡し、トラックの運転者が重傷を負った。

(7) 大型トラックの衝突事故②

4月2日（火）午前0時40分頃、静岡県県道において、同県に営業所を置く大型トラックが運行中、対向車線の軽自動車が蛇行して走行してきたため停止したところ、当該軽自動車と衝突した。

平成28年1月に発生した軽井沢スキーバス事故を受け、「総合的な対策」の一環として、旅行業界・バス業界が共同して「貸切バスツアー適正取引推進委員会」（第三者委員会）を設置し、旅行者等と貸切バス事業者との間における手数料等の取引の適正化に向けた自主的な取組が進められています。

一方で、同バス事故からおよそ3年が経過したことを受け、同バス事故を風化させず、旅行業界・バス業界における適正な取引環境を確実に実現していくため、両業界における自主的な取組に加え、国土交通省としても実質的な下限割れ運賃の防止に向けて、以下のとおり、調査等の積極的な実施や手数料等の記載の義務化に取り組んでいきます。

※詳細については、下記リンク先をご覧ください。

→ http://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha03_hh_000301.html

(3) バスターミナル等における先進的警備システム実証実験結果とりまとめ (配信日：H31.3.29)

国土交通省では、不審人物や不審物を自動で検知できる「先進的警備システム」のバスターミナル等における導入に向けて実施した実証実験の結果をとりまとめました。今後、同システムの導入促進につなげて参ります。

国土交通省は、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、バスターミナル等不特定多数が集まるソフトターゲットに対する警戒強化を目指し、不審人物や不審物を自動で検知できる「先進的警備システム」のバスターミナル等における導入に向けて実施した実証実験の結果をとりまとめました。

※詳細については、下記リンク先をご覧ください。

→ http://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha02_hh_000375.html

(4) 即位日等休日法の施行に伴う大型連休（ゴールデンウィーク）期間におけるテロ対策の徹底について (配信日：H31.3.29)

国土交通省では、これまでも国民生活の「安全・安心」を確保する観点から、最重要課題の一つとしてテロ対策の強化・徹底に取り組んでいるところです。

即位日等休日法の施行に伴う大型連休期間（平成31年4月27日～5月6日）においては、大量の輸送需要が集中して発生するとともに、行事、催物等への多数の出入が予想されます。

行事、催物等多数の人が集まり、防御が比較的手薄なソフトターゲットを狙った

